

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	GAVIアライアンス拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始		担当課室	国際保健政策室		室長 小沼 士郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅶ 分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	GAVIアライアンスとの拠出に係る覚書				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	GAVIアライアンス(以下、GAVI)は、予防接種を向上させることにより子どもたちの命と人々の健康を守ることを目的として2000年に設立。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>1. 56カ国の開発途上国を対象とし、同途上国政府による以下の取組を支援。 (ア)5価ワクチン:ジフテリア、破傷風、百日咳、B型肝炎、インフルエンザ菌b型(Hib)、黄熱病、麻疹 (イ)普及の遅れているワクチン及び新型ワクチン(肺炎球菌、ロタウイルス)の普及支援 (ウ)予防接種普及を効果的に行うための保健システム強化(2006年) (エ)国家の予防接種プログラムの予算の安定性及び持続性の向上のための取組</p> <p>2. ワクチン市場への介入(供給・価格の低下等)</p> <p>3. 長期的かつ計画的に官民の資金を確保するため、革新的な資金調達メカニズムを含む取組の実施(IFFIやAMC等)</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算		832	734	744	870	
		補正予算		-	-			
		繰越し等		-	-			
		計		832	734	744	870	
		執行額		832	734			
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	GAVIによる直接的な支援により、救われた人の数		成果実績		582	591	596	982 (2015年度)
			達成度	%	59	60	61%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	GAVIにより予防接種を受けた人の数(2000年からの累計)		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
								-
単位当たりコスト	2,937円(2011年のデータに基づき算出)		算出根拠	総プログラム支出額/予防接種を受けた人数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	GAVIアライアンス拠出金	744	870	GAVIアライアンス拠出金に関しては、「新しい日本のための優先課題推進枠」870(百万)				
	計	744	870					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	我が国の新国際保健政策Ⅱ011-2015では、特にミレニアム開発目標(MDGs)の中でも進捗が遅れているMDG4(乳幼児死亡率の削減)を重視している。GAVIはこれまでに596万人の子どもの命を救う等MDG4の達成に大きく貢献している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	GAVIはその主活動のひとつにワクチン市場への介入を上げて供給・価格の低下等に積極的に努めている他、被援助政府とのコーファイナンスを義務付けている等資金の流れ・品目・使途も明瞭。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	2011年5月のG8ドーヴィル・サミット的首脳宣言においてもGAVIの重要性に関する文言が盛り込まれている他、英国・豪州・ノルウェー政府がそれぞれ行ったマルチ機関の評価においても最高の評価を受けている。昨年6月のGAVI増資会合では、目標であった資金ギャップ(37億ドル)を大幅に上回る43億ドルの拠出が表明されたことは、こうした国際社会のGAVIの活動に対する高い評価を裏打ちするもの。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	費用対効果の高い予防接種を安価に供給するための包括的取組を実施しているGAVIへの拠出を通じて期待される主な効果は以下3点。 (1) GAVIの取組により、MDGsの達成期限である2015年までに400万人の命が救われることが推定(これまでにGAVIの支援を通じて救われる命は596万人)。GAVIへの拠出を通じて、MDG4及び5の達成に貢献。 (2) MDG4及び5の成果達成状況をモニタリング、国民や国際社会に対して、目に見える成果をアピール可能。 (3) 2011年5月に開催させたG8ドーヴィル・サミット的首脳宣言においても、GAVIの重要性に関する文言が盛り込まれる等重視されており、GAVIへの拠出を継続することにより我が国の国際的プレゼンスを確保。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き、予算の効率化や経費の節減の余地が無いか確認していく。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	平成23年	4	平成24年	119